

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

入学試験 ガイド

2023年

4月入学・9月入学



不測の事態の発生等により、やむを得ず入学試験の内容（試験日程、出願要件、選考方法等）を変更することがあります。変更内容は、本学「受験生サイト APUmate」にて公表します。出願、受験に際しては、必ず「受験生サイト APUmate」で最新情報を確認してください。

立命館アジア太平洋大学

2022年9月発行

2023年度入試 TOPICS	P2	国際バカロレア (IB) 入試	P13
入試方式一覧	P3	一般選抜	P14
入学基準言語について／各入試方式における 英語外部資格試験の出願資格について	P4	秋期入試	P24
出願から合格発表までの流れ／国内学生入試の 受験で特別な支援を必要とする方へ	P5	編入学試験・転入学試験	P28
APU入試日程カレンダー	P6	入試結果データ	P29
総合型選抜	P7	入学検定料／入学手続時納付金／学費	P30
海外就学経験者 (帰国生) 入試	P12	奨学金制度	P31
		Q&A	P33

アドミッション・ポリシー

学士課程

立命館アジア太平洋大学 (APU) の基本理念「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」に共感し、世界から集う学生とともに学び、異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、多文化・多言語キャンパスからなる大学コミュニティにおいて日英両語で積極的に交流し、相互の学びに貢献する意思を持った学生を求める。

このような学びを行うためにAPUに入学する学士課程の学生には、以下の資質・能力などを有することを求める。

1) 知識・技能

- 大学での学習に必要な基本的知識。
- 大学での学習を遂行するために必要な英語または日本語の能力。

2) 思考力・判断力・表現力

- 主体的に課題を発見し問題解決に取り組むためのクリティカル・シンキングと分析力、創造力。
- 情報を正確に読み解く力、自分の考えを的確に表現し論理的に説明する力や数的思考力。

3) 主体性・多様性・協働性

- 目標に向かう行動力、やり抜く力。
- 他者との相互理解に基づき他者を巻き込みつつ、他者に貢献する態度。
- 多文化教育環境を十分に活用し「多文化協働学修」に参画する意欲。

アジア太平洋学部

- 1) アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会における「文化・社会・メディア」「国際関係」「グローバル経済」についての興味・関心。
- 2) 社会、政治、経済を中心に社会科学の分野を勉強していくことができる基礎的な力。
- 3) アジア太平洋学部での専門領域の文献を理解し、論述できるための基本的な読解力と文章力。
- 4) 自分の興味、関心を追求し、それを明確に表現する力。
- 5) 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それらをまとめあげる力。

国際経営学部

- 1) 経営戦略・リーダーシップ、マーケティング、会計・ファイナンス、アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメントを含むグローバル経営やビジネスについての興味・関心。
- 2) 創造力、リーダーシップスキル、問題解決力を有し、さらにそれを伸ばす力と意欲。
- 3) ビジネスを通してポジティブな変化をもたらす、アジア太平洋地域や世界におけるインクルージョンと持続可能性に向けてアクションを起こす意欲。

サステイナビリティ観光学部

- 1) 持続可能な社会と観光についての興味・関心。
- 2) 国内外の様々な地域へ関心を持ち、地域の持続可能性に向けて課題解決に取り組む意欲。
- 3) 学内外における学びを通じ、様々な社会のアクターと協働して学問横断的に学ぶ意欲。

(学部共通)

入学者選抜においては、APUにおける学びに適した学部学生を受け入れるために、上記の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を総合的に判断する多様な入学者選抜を行う。

2023年度入試TOPICS

サステナビリティ観光学部開設

将来世代も安心して暮らせる持続可能な社会づくりを研究する「サステナビリティ学」と、人の流動が激しい現代に経済的・文化的に影響を与える「観光」の両面から学ぶことができる学部です。

国内学生優秀者
育英奨学金
授業料100%減免
制度を導入

⇒ 詳細はP31をご覧ください。

国際教育寮
APハウス
希望者100%入寮

APハウス新棟 2023年完成予定

APハウス寮費
半額減免制度導入

⇒ 詳細はP31をご覧ください。

多様な英語外部
資格試験のスコアを
活用可

⇒ 詳細はP4、P18をご覧ください。

入学時期を
4月と9月から選択可

高校の卒業時期に合わせて、4月入学と9月入学を選択することができます。

総合型選抜等は
オンラインで
試験・面接を実施
一般選抜は
全国31試験地で受験可

⇒ 詳細はP17をご覧ください。

入試方式一覧

あなたの「得意」や状況に合った入試方式を見つけましょう！

総合型選抜

高校時代に取り組んだ「探究的な学び」で深めた思考力を活かしたい！

▶ 「世界を変える人材育成入試」～ロジカル・フラワー・チャート入試～ ⇒P7

高校時代に取り組んだ活動（英語外部資格試験・課外活動・留学経験等）をアピールしたい！

▶ 「活動実績アピール入試」 ⇒P9

小論文対策を活かしつつ、APUでの学びや様々な活動への意欲を面接でアピールしたい！

▶ 「総合評価入試」 ⇒P11

海外就学経験者 入試

海外での学習経験、生活を通して得た学びをアピールしたい！

▶ 「海外就学経験者（帰国生）入試」 ⇒P12

※総合型選抜を併願することもできます

国際バカロレア 入試

高校時代に取り組んだ国際バカロレア（IB）のディプロマ取得に至る学びをアピールしたい！

▶ 「国際バカロレア（IB）入試」 ⇒P13

一般選抜

得意な教科を活かして受験したい！

▶ 本学独自試験「前期方式」「英語重視方式」「共通テスト併用方式」 ⇒P14

国公立大学受験対策を活かして受験したい！

▶ 大学入学共通テストを利用した各方式 ⇒P15

3月入試で最後まで頑張りたい！

▶ 本学独自試験「後期方式」／共通テスト利用「共通テスト+面接方式」
「共通テスト方式（後期型）」 ⇒P16

秋期入試

9月に入学をしたい！

▶ 「秋期・世界を変える人材育成入試」～ロジカル・フラワー・チャート入試～
「秋期・活動実績アピール入試」「秋期・海外就学経験者（帰国生）入試」
「秋期・国際バカロレア（IB）入試」 ⇒P24

入学基準言語について

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英2言語教育」です。

入学希望者は、入学試験への出願時に入学基準言語として「日本語基準」か「英語基準」のいずれかを選択する必要があります。

日本語基準とは？

日本国内の高校を卒業した学生の大多数は、日本語基準で受験し、入学しています。

1～2回生時は日本語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。また同時に必修言語科目として「英語」を履修し、英語力を伸ばしていくことで、3～4回生時は英語で行われる授業の履修数を増やしていきます。

なお、卒業をするためには英語で行われる教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得する必要があります。

英語基準とは？

出願書類の記入から面接など全ての入試選考を英語で実施し、入学当初から英語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。

そのため、中学・高校に相当する過程において英語で教育を受け、英語の方が授業が履修しやすい方が該当します。

なお、必須言語科目は「日本語」となりますが、日本語基準学生のような卒業要件はありません。

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格について

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格は下記のとおりです。

英語外部資格試験スコアについて

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2020年10月1日以降のものを有効とします。

	TOEFL iBT®	TOEIC® (L&R/S&W)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
活動実績アピール入試出願資格(カテゴリーA-英語能力)	42	1150	4.0	2級	225	420	960	140	38
国際バカロレアIB入試(日本語基準)出願資格	42	1150	4.0	2級	225	420	960	140	38
一般選抜における外国語特例措置(満点換算)	72	1560	5.5	準1級	309	600	1190	160	48
1回生英語基準入試出願資格	75	1600	6.0	準1級	318	630	1215	169	50
2回生編転入 日本語基準出願資格	55	1340	5.0	準1級	-	-	-	149	42
3回生編転入 日本語基準出願資格	61	1420	5.5	準1級	-	-	-	153	45
2・3回生 編転入英語基準出願資格	85	1730	6.5	1級	-	-	-	176	58

※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。

※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。

※GTECは、オフィシャルスコアに限ります。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含まれます。

<詳細については、入学試験要項で確認してください。>

出願から合格発表までの流れ

〔総合型選抜、海外就学経験者入試、国際バカロレア入試、秋期入試、編入学・転入学試験〕

出願
合格発表

- ① 事前準備 インターネットに接続されたパソコン・スマートフォンなどを用意する。
入学試験要項で出願資格や必要書類・写真データなどを確認し、用意する。

- ② インターネット出願サイトへアクセス 受験生サイト APUmate からアクセス

- ③ 出願登録
各入試の出願期間開始日の13時から最終日の17時まで登録が可能です。
「入学基準言語」「APハウス入寮希望」「国内学生優秀者育英奨学金希望」はここでしか登録できません。

- ④ 入学検定料(受験料)の支払い クレジットカード、コンビニエンスストア、
金融機関ATM(ペイジー)、
ネットバンキングのいずれかでお支払いください。

- ⑤ 出願書類を郵送(速達・簡易書留)

出願完了

- ⑥ 受 験 ① 筆記試験・面接は全てオンラインで実施します。
受験票をインターネット出願サイトから印刷してください。

- ⑦ 合格発表
合格発表日の13時からオンライン合否照会で通知します。
合格発表日の13時から3日間(72時間) 本学ホームページ上で合格者受験番号一覧の掲示を行います(最終合否のみ)。
国内学生優秀者育英奨学金選考結果もオンライン合否照会で確認してください。

※一般選抜の出願の流れは、11月に発行される一般選抜入学試験要項でご確認ください。

国内学生入試の受験で特別な支援を必要とする方へ

本学の国内学生入試では、障がいなどの状況に応じて受験上の配慮が手配される場合があります。

受験上の配慮を希望される場合は、申請書の提出が必要です。詳細は「受験生サイト APUmate」をご確認ください。



APU 入試日程カレンダー

入試日程をよく確認のうえ、最適な受験スケジュールを組んでください。

出願期間 試験日 合格発表

		2022年9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月		
4月入学	総合型選抜	世界を変える人材育成入試	第1回	9/1~14	10/2 10/22 または10/23	11/1			※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象	
			第2回		10/6~19	11/6 11/26 または11/27	12/13			
			第3回		10/27~11/9	11/27	12/17 または12/18	1/10		
			第4回					2/1~14	3/5	3/17
	総合型選抜	活動実績アピール入試	第1回	9/1~14	10/8 または10/9	11/1				※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象
			第2回		9/29~10/12	11/5 または11/6	11/22			
			第3回		10/27~11/9		12/3 または12/4	12/13		
			第4回				12/8~19	1/21	1/31	
	総合型選抜	総合評価入試	第1回	9/1~14	10/1 10/22 または10/23	11/1				※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象
			第2回		10/6~19	11/5 11/26 または11/27	12/13			
			第3回		10/27~11/9	11/26	12/17 または12/18	1/10		
			第4回					2/1~14	3/4	3/17
海外就学経験者(帰国生)入試	第1回	9/1~14	10/22 または10/23	11/1					※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象	
	第2回			11/10~22	12/17 または12/18	1/10				
	第3回				12/1~14	1/21	1/31			
国際バカロレア(IB)入試	第1回		10/20~11/2		12/3 または12/4	12/13				
	第2回			11/10~22	12/17 または12/18	1/10				
2~3回生編入学転入学	第1回	9/1~14	10/22 または10/23	11/1					※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象	
	第2回				12/1~14	1/21	1/31		※アジア太平洋学部／国際経営学部のみ対象	
一般選抜	前期方式					1/6~22	2/1~4	2/17		
	英語重視方式					1/6~26	2/7	2/20		
	共通テスト併用方式					1/6~26	2/8 2/9	2/20		
	後期方式						2/12~25	3/7	3/17	
	共通テスト+面接方式						2/12~25	3/8	3/17	
	共通テスト方式(後期型以外)					1/6~13	2/17			
	共通テスト方式(後期型)						2/12~3/1	3/17		

		2022年10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
9月入学	秋期・世界を変える人材育成入試	第1回							5/11~24	6/17	7/8	7/18
		第2回		11/10~22	12/17 または12/18	1/10						
	秋期・活動実績アピール入試	第1回					3/9~22	4/22	5/9			
		第2回								5/25~6/7		
		第3回									7/8	7/18
	秋期・海外就学経験者(帰国生)入試	第1回			12/1~14	1/21	1/31					
		第2回					2/9~22	3/22~24	4/4			
		第3回						4/6~19	5/17~19	5/30		
	秋期・国際バカロレア(IB)入試	第1回					3/9~22	4/22	5/9			
	秋期・2~3回生編入学/転入学	第1回		12/1~14	1/21	1/31						
第2回							4/6~19	5/17~19	5/30			

世界を変える人材育成入試 ～ロジカル・フラワー・チャート入試～

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

自分なりの「問い」を立て、自分なりの「方法」で、自分なりの「答え（最適解）」を見つける力（探究型の資質や能力）を評価します。入学後の学修について自分なりの目標を掲げ、より良い世界の実現に向かって他者とともに取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え（仮説）を設定した上で、設問に解答（試験時間120分）

第1次選考
合格者

■第2次（最終）選考

個人面接／オンライン（約20分）
（口頭試問を含む）

❗ 選考・評価のポイント

（出願書類）

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

（筆記試験）

- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など

❗ 選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次（最終）選考	合格発表日	
		試験日	結果通知日	試験日*		
第1回	2022年 9月1日(木)～ 9月14日(水)	10月2日(日)	10月14日(金)	10月22日(土)または 10月23日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部／ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 10月6日(木)～ 10月19日(水)	11月6日(日)	11月18日(金)	11月26日(土)または 11月27日(日)	12月13日(火)	
第3回	2022年 10月27日(木)～ 11月9日(水)	11月27日(日)	12月9日(金)	12月17日(土)または 12月18日(日)	2023年 1月10日(火)	
第4回	2023年 2月1日(水)～ 2月14日(火)	3月5日(日) 第1次選考・第2次選考を同日に実施			2023年 3月17日(金)	

*第2次（最終）選考の試験日は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

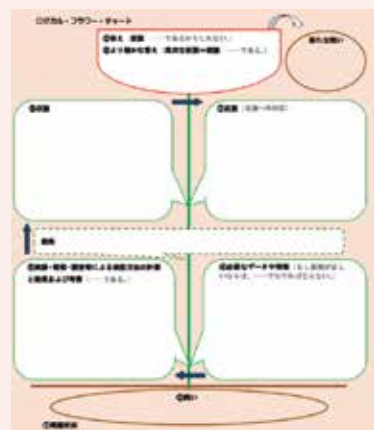
次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または2023年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

ロジカル・フラワー・チャートとは？

考えるべき問題を見つけ、その問題がなぜ起きているのか（どうすれば解決できるのか）について仮説を立て、その仮説が正しいかどうか、誰もが理解できるような方法で論証・検証し、結論を導くという探究的なプロセスをモデル化したものです。そのプロセスを図式化すると、右の図のような花の形になるため、「ロジカル・フラワー・チャート」と呼ばれます。

ロジカル・フラワー・チャートに関する
詳細な説明はこちら

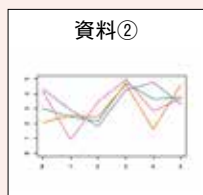
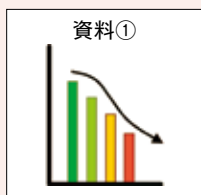


筆記試験は具体的にはどんな試験？

皆さんが高校で取り組まれている「探究学習」のように、自分で「問い」を立て、その問いに対する答えを導き出すためには、どのようなデータや調査をする必要があるかということについて答えて頂く試験です。

1 「問い」を立てる

最初に複数の資料（下記のように文章や図表、写真等を提示しますが、試験回により資料数や種類は変わります）を関連付けて、自分なりの「問い」を立てます。



資料⑤

2 「問い」の社会的意義を考える

上記で設定した「問い」の答えを導き出すことが、どのように社会に役に立つと思われるのか、また社会的にどのような価値があるのかを考えてください。

3 「問い」に対する自分なりの答えを考える

設定した「問い」に対して、自分なりの答えを記述してください。

4 その答えを証明するために、どのようなデータや調査が必要かを考える

あなたの答えを証明するために、どのようなデータや調査結果が必要であるかを具体的に記述してください。またそのようなデータや調査結果を得るためには、具体的にどのような実験や調査を行う必要があるかを記述してください。

5 1～4を計画書としてまとめる

「問い」、「問い」の社会的な意義、自分なりの答え、必要な情報や調査等を踏まえ、あなたがこの「問い」について論文を作成するとした場合の計画書（論文・レポートで序論にあたる文章）を作成してください。

この方式の対策は？

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。ロジカル・フラワー・チャートを活用して探求的な学びの基礎を身につけていれば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmatelに記載している「解答のポイント」を参考にして、

まずは

- ① 社会的に価値のある「問い」を立てること
- ② その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすることが必要です。

また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。



解答のポイントの詳細はこちら

活動実績アピール入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

※海外で就学された方も受験可

趣 旨

中学卒業後から出願時までに修得した英語能力や海外留学等の国際経験をはじめ、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、さまざまな分野での活動実績・成果と、入学後の活動意欲や学修意欲を評価します。入学後の学修および正課外活動の両立を高いレベルで実現することをめざす人はもちろん、活動は継続しなくても、意欲的な取り組みにより培われた能力を活かし、入学後の生活を積極的に進めることのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力 ●コンクール・大会等での活動成果
- 海外での学習成果 ●取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返りなど

第1次選考 合格者



■ 第2次(最終)選考

個人面接/オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考	第2次(最終)選考	合格発表日	
		結果通知日	試験日*		
第1回	2022年 9月1日(木)～ 9月14日(水)	9月30日(金)	10月8日(土)または 10月9日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部/ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 9月29日(木)～ 10月12日(水)	10月28日(金)	11月5日(土)または 11月6日(日)	11月22日(火)	
第3回	2022年 10月27日(木)～ 11月9日(水)	11月25日(金)	12月3日(土)または 12月4日(日)	12月13日(火)	
第4回	2022年 12月8日(木)～ 12月19日(月)	2023年 1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)	

*第2次(最終)選考の試験日は、本学が指定します。

※募集区分が異なる場合は、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当し、かつ(3)(4)のいずれかに該当する者。また、英語基準出願者は(5)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2021年4月1日から2023年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

(3) 【カテゴリーA(英語能力・留学経験アピール)】

次の①～③のいずれかに該当する者。

- ①英語能力に関して、TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。
- ②International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき通算3ヵ月以上の教育を受けた者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア
P.4へ

(4) 【カテゴリーB(言語・学芸・社会活動・スポーツ等アピール)】

中学卒業後から出願時までの諸活動において優れた実績を持つ者*1で、高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上の者*2。また、数学について、少なくとも「数学I」ならびに「数学A」を履修し、単位を修得している、または修得見込みである者。

(アピールできる諸活動は最大3件までとし、2018年4月2日以降のものに限ります。)

*1 1次ページの「活動実績評価の目安」を参照ください。

*2 高等学校に相当する課程で、日本と日本国外の両方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上必要です。

【英語基準出願者のみ】

(5) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

- ①TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- ②International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.4へ

出願するカテゴリー以外の活動実績もアピールすることが可能です。提出された活動実績は3つまで評価します。なお、これらはいくまでも目安です。下表の活動以外でもアピールすることが可能です。ただし、個別の活動や証明書について、実績または証明として成立するかどうか大学にお問い合わせいただいても回答できません。志願者自身で判断して提出してください。

分野(例)	本学が入学者に求める活動実績・成果の水準(目安)
英語関連資格	TOEFL iBT® Test 61点程度 (TOEIC® L&R/S&W TEST 1420点、IELTS (Academic Module) 5.5、実用英語技能検定準1級、GTEC 1115点、TEAP 280点、TEAP CBT 535点、ケンブリッジ英検 153点等)、PTE Academic 45点
言語	<ul style="list-style-type: none"> ●【中国語】中国語検定4級、実用中国語技能検定4級、HSK2級 ●【韓国語】韓国語能力検定2級、「ハングル」能力検定4級 ●【スペイン語】スペイン語技能検定4級 ●【上記以外の言語】スピーチコンテスト参加
留学経験	●3か月以上の海外留学経験および留学先での優秀な学業成績・成果
生徒会活動 ボランティア 自主活動等	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会(会長・副会長等執行部)の活動や、社会的に評価を得た(新聞に掲載された等)その他社会的な活動(ボランティア等) ●「日本の次世代リーダー養成塾」等、高校生対象の人材育成プログラムへの参加実績 ●高校生を対象とする弁論・スピーチ、ビジネスプラン、課題学習等各種コンテストでの入賞歴
文化・芸術	●都道府県大会レベル以上のコンクール・コンテストへの出場経験、およびその成果 ※活動分野は特に限定しません。
スポーツ	●都道府県大会レベル以上の試合・競技会等への選手(競技者)またはチームマネージャー等としての出場経験、およびその成果 ※種目は特に限定しません。
学術	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーグローバルハイスクール(SGHアソシエイト含む)での活動による研究会や発表会でのポスターセッション、研究発表の成果(ただし、成果物のコピー等に加え、主催者や教員からの推薦書、評価書等の客観評価資料<書式は自由>を添付すること。) ●社会的に評価を得た学術分野の諸活動における取り組みやその成果
各種資格等	<ul style="list-style-type: none"> ●基本情報技術者試験合格、日商簿記2級以上、日商珠算能力検定1級、ニュース時事能力検定試験1級 ●2年以上の公公式学習履歴があり、公文認定テストの高校基礎課程テスト(または最終教材修了テスト)で英語を含む2教科以上に合格

※過年度合格者の活動実績・成果【一部のみ】

- 1年間アメリカ合衆国留学、TOEFL iBT® Test 74点、高校生英語ディベートコンテスト県準優勝
- 1年間オーストラリア留学、模擬国連会議地区大会参加
- タイでのボランティア・スタディツアー参加
- 日本の次世代リーダー養成塾参加
- 実用英語技能検定準1級、生徒会長、県高校体育大会(馬術競技)2位
- 全国高校総合体育大会(水球)ベスト8
- 吹奏楽県コンクール金賞、全国高等学校総合文化祭文化連盟賞
- 全国高校将棋選手権女子個人の部優勝、将棋部部长

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて中止・延期等となった大会や資格・検定試験等について「活動実績報告書」に記載する場合は、中止・延期等となった事実に加えて、それらの大会や資格・検定試験等に参加を予定していたり、そのために準備していたりしたことを客観的に示す資料を作成し、提出してください。

この方式の対策は？

- 3か月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

総合型選抜

総合評価入試

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で確認してください。

趣 旨

志望学部への関心や入学後の学修等への意欲、自らの思考や意見を表現する力を問う選考を通じて、入学後の成長の可能性を総合的に評価します。
入学後の具体的な学修計画と目標を掲げ、その実現に向けて意欲的に取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

社会で生起する様々な問題に関する評論文・エッセイ等の課題文を読み、小論文を作成（試験時間90分、記述量1,200字）

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン（約20分）

❗ 選考・評価のポイント

〈出願書類〉

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

〈筆記試験(小論文)〉

- 課題文に対する読解力
- 論理的思考力
- 文章表現力

など

❗ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次(最終)選考	合格発表日	
		試験日	結果通知日	試験日*		
第1回	2022年 9月1日(木)～ 9月14日(水)	10月1日(土)	10月14日(金)	10月22日(土)または 10月23日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部/ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 10月6日(木)～ 10月19日(水)	11月5日(土)	11月18日(金)	11月26日(土)または 11月27日(日)	12月13日(火)	
第3回	2022年 10月27日(木)～ 11月9日(水)	11月26日(土)	12月9日(金)	12月17日(土)または 12月18日(日)	2023年 1月10日(火)	
第4回	2023年 2月1日(水)～ 2月14日(火)	3月4日(土) 第1次選考・第2次選考を同日に実施			2023年 3月17日(金)	

* 第2次(最終)選考の試験日は本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または2023年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は？

- 志望理由書は「なぜAPUで学ぶのか」「あなたの将来とAPUの学びはどう繋がるのか」などについて、自分の考えを整理しましょう。
- 小論文対策をしっかりとしてください。
本学の小論文は一般的な「小論文試験」と言われるものと大きな違いはありません。高等学校等での学習にしっかりと取り組むことに加えて、普段からご自身の興味関心に合わせて、本や新聞を読んでおくことが重要です。その上で、自分の考えを文章にまとめること、またそれを誰かに読んでもらい批評してもらうことも対策になるでしょう。また課題文の内容やポイントを正確かつ素早く把握することも重要です。設問の意図を理解して、自分の主張を論理的に表現する練習をしましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習をしましょう。



過去の出題例は
こちら

海外就学経験者(帰国生)入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

海外での学修・生活経験や、その後の日本での学修活動などを総合的に評価する入試方式です。
言語や文化の異なる国・地域での体験を活かして、将来活躍したいという思いを持つ人は、積極的にチャレンジしてください。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考
合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。

❗ 選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ:高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り

❗ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか
- など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考試験日	合格発表日	
第1回	2022年 9月1日(木)~9月14日(水)	10月14日(金)	10月22日(土)または 10月23日(日)	11月1日(火)	※アジア 太平洋学部/ 国際経営学部 のみ対象
第2回	2022年 11月10日(木)~11月22日(火)	12月9日(金)	12月17日(土)または 12月18日(日)	2023年 1月10日(火)	
第3回	2022年 12月1日(木)~12月14日(水)	2023年 1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)	

※第1回と第2回の第2次(最終)選考の試験日は本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2020年4月1日から2023年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2023年3月31日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
※P.4へ

 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。

国際バカロレア (IB) 入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

International Baccalaureate (IB) のディプロマの取得 (または取得見込) 者を対象とし、ディプロマ取得に至る学びを評価する入試方式で、APUでのさらなる学びを通して世界で活躍する人材に成長することを期待しています。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容 など

第1次選考
合格者



■ 第2次 (最終) 選考

個人面接 / オンライン (約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次 (最終) 選考試験日	合格発表日
第1回	2022年 10月20日 (木) ~ 11月2日 (水)	11月25日 (金)	12月3日 (土) または 12月4日 (日)	12月13日 (火)
第2回	2022年 11月10日 (木) ~ 11月22日 (火)	12月9日 (金)	12月17日 (土) または 12月18日 (日)	2023年 1月10日 (火)

※第2次 (最終) 選考の試験日は本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます (同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2023年3月31日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。
 - ② **[日本語基準出願者]**
TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。 **TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア** P.4へ
 - ③ **[英語基準出願者]**
TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。 **TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア** P.4へ
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目 (言語教育科目を除く) を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2023年3月31日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

この方式の対策は?

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得力をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学習経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

前期方式[スタンダード3教科型] 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

「3教科で総合的に評価する」APUのスタンダード入試

3教科の合計点で合否判定を行う方式。試験日が異なれば複数回の受験もできます。試験日・学部を問わず、出題形式・問題傾向は同じです。

※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

英語
<120点>
80分

+

国語※
<100点>
80分

+

選択科目
(公民・地歴・数学)
<100点>
80分

英語重視方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

「前期方式と同一の出題形式で英語力が活かせる」方式

英語・国語・選択科目の3教科を受験し、「英語の得点」+「国語または選択科目の高得点」の2教科で判定します。

※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

英語
<150点>
80分

+

国語※
<100点>
80分

または

選択科目
(公民・地歴・数学)
<100点>
80分

共通テスト併用方式

【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「英語と国語（現代文）の本学独自試験に、大学入学共通テストの高得点を加えた合計点」で判定

大学入学共通テスト後に出願できるため高得点科目が活かれます。

大学入学共通テストの教科・科目		本学独自試験科目	
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	全科目のうち 高得点1科目を採用	英語
国語	「国語」		
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」		
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>		
<100点>		+	国語 (現代文のみ) <100点> 80分

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくは、P.18をご覧ください。

【注2】「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

前期方式・英語重視方式・共通テスト併用方式対策のポイント

- 本学の一般選抜は高校で学んだ基礎学力を求めるものです。これまでの学びを復習して基礎をしっかりと固めましょう。
- 過去問題に馴染み、解答の順番や時間配分を考えておくことも有効でしょう。
- 詳細な出願方針と学習のポイントはP.20~23をご覧ください。

一般選抜

2月入試

共通テスト方式

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否を判定する」方式

高得点の教科・科目が活かされます。選択科目は高得点科目を自動的に採用します。

		大学入学共通テストの教科・科目		配点
7科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択		200点
	国語	「国語」		200点
	数学	「数学I・数学A」		100点
	数学	「数学II・数学B」		高得点 4科目を採用
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」		
		4科目で 400点 (各100点)		

		大学入学共通テストの教科・科目		配点
5科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択		200点
	国語	「国語」		200点
	数学	「数学I・数学A」		200点
	数学	「数学II・数学B」		高得点 2科目を採用
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目		
		2科目で 400点 (各200点)		

		大学入学共通テストの教科・科目		配点		
				アジア 太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ 観光学部
3教科型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択		200点	150点	200点
	国語	「国語」		150点	150点	150点
	数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」		高得点 1科目を採用	150点	200点
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」				
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
		150点		150点	150点	

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.18をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

共通テスト方式の併願

各科目、教科型の併願はもちろん、複数学部の併願もできます。

また、併願時の入学検定料は1出願目が18,000円、2併願目以降が各10,000円となります。(出願期間が同一の場合)。

後期方式【本学独自試験】

日本語
基準優秀者
奨学金併願
可

「英語+国語の2教科」で実施

2月実施の入試結果を確認した後も出願できる英・国2教科で実施する方式です。

英語
(120点)
80分+ 国語
(現代文のみ)
(100点)
80分

後期方式の学部間併願

1回の受験で複数学部の併願ができます。また、併願の場合の入学検定料は2併願目以降が10,000円となります。

共通テスト + 面接方式

【本学独自試験】

日本語
基準優秀者
奨学金英語
特例併願
可

「大学入学共通テストの得点+面接により、基礎学力や意欲、適性を総合的に評価する」方式

大学入学共通テストの得点(300点)と面接の得点(100点)により、基礎的な学力に加えて志望学部への興味・関心や入学後の学修意欲等を総合的に評価します。なお、大学入学共通テストの得点率が60%(合計得点180点)以上であることが合格の必要条件となります。

大学入学共通テストの教科・科目		配点	+	本学独自試験	配点	試験時間
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	100点		+	面接 (オンライン) 出願時に提出をした 「志望理由書」の 内容に関する 質疑応答等	100点
国語	「国語」	100点				
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	高得点 1科目 を採用 1科目で 100点				
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」					
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.18をご覧ください。

【注2】「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

⚠ 面接試験評価のポイント ●志望学部への興味・関心 ●入学後の学修計画の具体性 ●入学後の学修・正課外活動を含む学生生活全般への意欲等

共通テスト方式(後期型)

日本語
基準優秀者
奨学金英語
特例併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否判定する」方式

3学部を併願できます。

大学入学共通テストの教科・科目		配点
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点
国語	「国語」	200点
4科目型	数学	高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公民	
	地歴	
	理科	
	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 <small>【注2】</small>	

一般選抜

5科目型	大学入学共通テストの教科・科目		配点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 【注1】	200点
	国語	「国語」	200点
	数学	「数学I・数学A」	200点
	数学	「数学II・数学B」	高得点 2科目を採用
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目	
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 【注2】		
		2科目で 400点 (各200点)	

3教科型	大学入学共通テストの教科・科目		配点		
			アジア 太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ 観光学部
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 【注1】	200点	150点	200点
	国語	「国語」	150点	150点	150点
	数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	高得点 1科目を採用	150点	200点
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」			
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」				
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 【注2】				
		150点	150点	150点	

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.18をご覧ください。

【注2】「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.19をご覧ください。

一般選抜 INFORMATION

2023年3月31日までに大学入学資格を持つ方を対象に一般選抜を実施します。

出願資格の詳細については2023年度一般選抜の「入学試験要項」で確認してください。

1 入試スケジュール

◆共通テスト方式[全学部共通]

教科・科目型		2月入試	3月入試
		[7科目型] [5科目型] [3教科型]	[後期型(4科目型・5科目型・3教科型)]
出願期間	インターネット*	1月6日(金)～13日(金)	2月12日(日)～3月1日(水)
合格発表日		2月17日(金)	3月17日(金)

◆本学独自試験[全学部共通]

試験日	2月							3月	
	1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	7日(火)	8日(水)
入試方式	前期	前期	前期	前期	英語重視	共通テスト併用	共通テスト併用	後期	共通テスト+面接
試験地	千葉(柏)・埼玉(大宮)・東京(市ヶ谷)・横浜・金沢・名古屋・滋賀(草津)・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡・大分							オンライン	
	札幌・仙台・松本・静岡・浜松・福井・三重・姫路・和歌山 岡山・松江・山口・松山・北九州・熊本・鹿児島							浜松	
出願期間	インターネット*	1月6日(金)～22日(日)				1月6日(金)～26日(木)		2月12日(日)～2月25日(土)	
合格発表日		2月17日(金)				2月20日(月)		3月17日(金)	

※ 調査書等の出願書類は、別途郵送が必要となります(出願期間最終日の消印有効)。

2 英語外部資格試験スコア等保持者への「外国語」の特例措置

TOEFL[®] Test、TOEIC[®] TEST等のスコアが基準以上であれば大学入学共通テストの「外国語」を満点とします。

下記①～⑥の入試方式で受験する者のうち、本学が指定する英語外部資格試験において下記の基準以上のスコア・等級を持つ方は、それらを証明する書類（コピー）を出願時に提出してください。大学入学共通テスト「外国語」の得点を満点と換算し、合否判定に用います。

【対象となる入試方式】 対象となる入試方式には **英語特例** を表示しています。

- ① 共通テスト方式 7科目型
- ② 共通テスト方式 5科目型
- ③ 共通テスト方式 3教科型
- ④ 共通テスト併用方式
- ⑤ 共通テスト+面接方式
- ⑥ 共通テスト方式 後期型 4科目型・5科目型・3教科型

● 共通テスト「外国語」を満点として扱うスコア・級位

・TOEFL iBT[®] Test 72点相当以上

TOEFL iBT[®] Test 72点相当以上のスコア
P.4へ

3 学部・方式の併願

※入学検定料についてはP.30をご覧ください。

2月実施（本学独自試験）

【試験日が異なる場合】

- ① 試験日が異なれば、学部や方式を問わず併願ができます。また、同一名称の方式でも、前期方式では最大4回、共通テスト併用方式では最大2回の出願ができます。
- ② 複数の試験日に出願した場合（受験番号が複数ある場合）、受験番号ごとに合否判定を行います。

【同一試験日の場合】

同じ試験日に併願はできません。複数出願した場合は、実際に受験した受験番号・学部・方式のみ合否判定を行います。

3月実施（本学独自試験）

後期方式では1受験で複数学部を併願できます（入学検定料は2併願目以降は10,000円が別途必要）。また、「後期方式」と「共通テスト+面接方式」を併願することもできます。

共通テスト方式

2月実施と3月実施のいずれも学部間の併願ができます。また、2月実施では7科目型・5科目型・3教科型、3月実施では5科目型・4科目型・3教科型の併願ができます。

4 本学独自試験について

本学独自試験「選択科目」の解答科目選択方法

- 本学独自試験の「選択科目」（公民、地理歴史、数学）は、選択解答する科目を出願時に届け出る必要はありません。選択できる科目は学部・学科の入試方式において定めており、試験開始時にその中から解答科目を選択することができます。

合否判定について

- 合否判定は各入試方式において定められた試験科目の合計点で行います。
- 複数回受験した場合、それぞれの受験について合否を判定します。

得点調整について

試験日や解答科目による問題難易度の差によって生じる不公平を是正するため、本学独自試験において以下の得点調整を行うことがあります。

- 同一方式の試験を複数の試験日で実施する場合は、科目ごとに試験日間の得点調整を行うことがあります。
 - 「選択科目（公民、地理歴史、数学）」については、それぞれ科目間の得点調整を行うことがあります。
 - いずれも、試験日や科目ごとの平均点および標準偏差の差を補正することができる統計的方式にもとづいて、個々の受験生の得点を調整します。
- ※得点調整に関する問い合わせには応じられません。

5 共通テストの科目の取り扱い

※過年度の成績は使用できません。

「令和5年度大学入学共通テスト」(以下、共通テスト)で受験した科目の成績を、共通テスト方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する入試方式において定められた共通テストの科目を必要数受験してください。科目が不足する場合は合否判定の対象外となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、各入試方式において定められた共通テストの科目を受験していれば高得点の科目から自動的に採用されます。

それぞれの入試方式で定められた科目の配点と共通テストでの配点が異なる場合は得点換算を実施します。

■外国語

共通テストの「英語」は、【リーディング】(100点)と【リスニング】(100点)が出題されます。本学の入学試験では、下記(1)(2)のように取り扱います。

- (1) 【リーディング】100点満点を140点満点に、【リスニング】100点満点を60点満点に換算した合計で200点満点として取り扱います。
- (2) 各入試方式では、上記(1)により換算された得点を、当該の入試方式の配点に換算します。
また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」もすべての学部で使用できます。

■国語

共通テストの「国語」は、近代以降の文章(2問100点)、古典[古文(1問50点)、漢文(1問50点)]で構成されています。本学の入学試験では、下記(1)(2)のうち高得点となる方を自動的に採用し、各方式の点数に換算します。なお、(1)(2)の採用について事前申請等は不要です。

- (1) 「近代以降の文章」と「古文」を合わせた150点満点を200点満点に換算。
- (2) 「近代以降の文章」「古文」「漢文」のすべてをあわせた得点で200点満点。

■数学

共通テストの「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学I・数学A」、数学②は「数学II・数学B」の得点を使用します。使用できる科目および使用方法は各入試方式のページで確認してください。主な使用方法は以下の通りです。

- (1) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。
- (2) 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■地理歴史・公民

共通テストの「地理歴史・公民」は1科目または2科目を選択して受験できます。本学の入学試験では、地理歴史(「日本史B」「世界史B」「地理B」)と公民の得点を使用します。なお、公民科目の得点は下記のように使用します。〈「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目〉
※2科目を受験していても採用は最高点1科目のみとします。

■理科

共通テストの「理科」は、以下の通り理科①と理科②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。

理科①:「物理基礎」「化学基礎」

「生物基礎」「地学基礎」

理科②:「物理」「化学」「生物」「地学」

理科①および理科②については、以下の選択方法を共通テスト出願時に申し出ることになっています。

- A: 理科①から2科目
- B: 理科②から1科目
- C: 理科①から2科目および理科②から1科目
- D: 理科②から2科目

理科①の「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなして使用できます。

過年度の一般選抜試験問題を立命館アジア太平洋大学の入試情報サイトで公開しています。

受験生サイトAPUmate

<https://www.apumate.net/>

英語

全方式共通

(出題内容・形式・配点)

内容	形式	配点	試験時間
I 長文総合問題	マーク	29	80分
II 長文総合問題	マーク	31	
III 会話文	マーク	24	
IV 文法・慣用句	マーク	16	
V 語句選択英文完成	マーク	20	
合計		120	

*合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【出題の基本方針】

本学の諸学部において教育を受けるにふさわしい、基本的な英語力を備えた受験者を選抜するために、高等学校卒業段階で到達すべき英語力を公正に測定できる内容で出題することを基本方針とした。

【各設問の方針と内容】(全日程共通)

I 800語程度の英文をもとにした、大意把握と内容理解の力を試す問題である。[1]は、英文の意味・内容に関する問いが英語で提示され、[2]は、与えられた5つの文が英文の内容と一致するか否か、あるいは英文の内容からだけでは判断できないかを問う、より正確な内容理解を試す問題である。[3]は、英文を総合的に理解しているか(主旨の理解ができていないか)を問う。

II 800語程度の英文の内容理解を試す問題で、細部の正確な理解が要求される。[1]は文中の空所に当てはまる語(句)を選ぶ問題である。空所の直前・直後だけでなく、英文全体の話の流れを正確に把握する必要がある。[2]は英文の中の代名詞などの語(句)が、何を指しているか、何を意味しているかを、選ぶ問題である。何かを指示する語(句)が具体的に何を意味しているのかを意識的に考えながら読むことによって正確な理解ができていないかを試す。

III 二人の対話文をもとにした問題である。対話の中の空所を埋めるのにもっとも適当な表現を選択肢から選ぶ形式である。さまざまな場面で、話の流れを正確に掴みながら話し手の意向や気持ちなどを理解することができるか、また、適切な表現で応答に必要な情報を伝えることができるかを試す。人との関係を円滑にする(挨拶や呼び掛けなど)、相手の行動を促すなど、いろいろな言語の働きをする英語表現に親しんでおくことが必要である。

IV 文法事項に関する問題である。空所を埋めることによって英文を完成させる問題である。基本的なものを中心に、動詞、副詞、形容詞、接続詞、前置詞など様々な品詞に関して、適切な英語で表現する力を試す。

V 語彙に関する問題である。[1]は英文の空所を埋めるのにもっとも適当な単語を選ぶ形式で、文脈から語を導き出す問題であり、[2]は、文中の下線部と同じ意味の語を選択する同義語の問題である。教科書に出てくるような基本的な語彙をはじめ、自立した英語使用者に必要な語彙を幅広く身につけておくことが期待される。単に単語の意味を知っているのではなく、その単語が英文の中でどのように使われるか、連語関係などにも注意を払いながら学習しているかが試される。さらに、その単語を他の単語で置き換えることができるかどうか試されている。一つの単語に対する一段と深い理解が必要となる。

学習のポイント

- 長文総合問題は、まず論理の流れを理解して文章の大意を取り、その後には今度は一つ一つのパラグラフが何を言っているのかをキーワードなどを使って短い語句で示し、内容を掴みながら次のパラグラフに進んで行くことが必要である。そうすれば、細かい部分も正確に把握でき、論理的な流れも正確に掴めるはずである。
- 会話文や表現については、普段からインターネット上にある会話動画や映画などにできるだけ楽しく親しむことも必要である。面白い表現などをノートに書き取って見直すのも役に立つだろう。1週間や1ヶ月毎に最初から見直し、実際に口に出して言うことも大切である。同じ状況に遭遇すれば、自然に言葉が出てくるであろう。
- 語彙は言語習得の基礎中の基礎である。CDやDVDがついている単語集やインターネット上にある単語学習プログラムなどを活用し、気に入ったものを選び、耳で聞き、同時に口ずさみ、目で確認し、意味を考えながら書くなど、全ての感覚を使って覚えることが効果的である。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を総合的に伸ばす力になるだろう。

国 語

前期方式・英語重視方式

(出題内容・形式・配点)

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
合 計		100	

(問題選択について)

方 式	学 部	解答する問題
前期・英語重視	アジア太平洋 国際経営	一、二、三

*合計点が各学部および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【出題の基本方針】

高等学校の学習を基礎としつつ、大学入学後の学びをスタートするにあたって必要なレベルの文章読解力を問うように問題文を選び、出題している。現代文では、文章全体の流れの中で語句を適切に理解しながら、文章の読解が進み、主題の把握へとつながるように問いの順番を考慮して出題した。古文・漢文も文章全体の趣旨を正確に理解できるかどうか、受験生の読解力を問う問題を中心に、読解の前提である文法や語彙などの基礎知識の習得がなされていることを確認するための問題も出題している。

学習のポイント

- 学習にあたっては、まず、文章全体の大意を把握し、そのうえで、文章の構成や、個々の文章・語句の位置づけを理解できるよう心がけること。
- 現代文では、特に評論文で使われる概念や比喩的な表現の理解が必要となる。普段から評論文を読み、頻出概念や比喩的な言い回しに慣れておくこと。ある程度の長さの評論文を短時間で理解する訓練をすること。
- 筆者独得の表現や考えが展開されることもある。先入見にとらわれず、文章中のキーワードを把握し、文章が示しているものを的確に理解することを心がけてほしい。
- 繰り返しや言い換えなどで強調されている箇所が作者の主張したい内容であることが多い。文章の趣旨を理解するうえでの重要なポイントとして注目すること。
- 語彙・句法・表現技法などについては、普段から評論文に親しみ、初見の語句は辞書で調べる習慣を身につけたい。漢字については、同音異義語に注意するほか、丁寧かつ正確に書くように普段から心がけること。
- 文学史については、単なる作者や作品名の暗記ではなく、文学史の流れとして学習しておくこと。
- 古文は、基礎的な語彙や文法についての知識を身につけ、正確に意味を読み取れるように心がけること。主語となる動作の主体が誰か、敬語表現にも留意して丁寧な読解を心がけること。日記や物語の中の和歌の技法・形式についても注意しておくこと。

国 語

共通テスト併用方式・後期方式

(出題内容・形式・配点)

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マーク	50	80分
二 現代文	マーク	50	
合 計		100	

【出題の基本方針】

文章を論理的に読解できる力があるかどうかを問うことに重点を置き、現代社会の諸事象や言語・文化・思想・歴史をテーマとした論理性・批判性のある文章を選び、大問2題構成とした。

学習のポイント

- 論理的な文章を読解するためには、まずは、文脈の中で語句の意味を理解し覚えること、また、論理的に思考するためのツールとして概念語(抽象語)が使いこなせること、さらには文章の構造を大局的・俯瞰的に把握でき、筆者の思考や論理の道筋を正確にたどれることが必要である。
- さまざまな話題に興味・関心を持ち、教養書や新聞の社説・文化欄なども意欲的に読み、幅広い読書を通して、精密で批判的な思考を可能にする豊かな概念と語彙を養ってほしい。また、偏りのない判断や批判的思考が可能となるよう、ことばを自覚的に運用できる力を身につけることも心がけてほしい。

選択科目

政治・経済

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 現代政治の特質と課題	記述	35	80分
II 日本経済、国際経済	記述	35	
III 現代の資本主義経済	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書に準拠しつつ、受験生のより広い知識・思考力・判断力を問うことを基本方針とした。また、政治、経済それぞれについて分野の偏りがないように工夫し、問題の違いによって難易度に大きく差が出ないように工夫した。

学習のポイント

- 教科書・資料集・用語集などに準拠した出題であり、毎日の授業をしっかり受け、基本事項の意味を正確に理解することが望まれる。特に、昨今の国際化した政治・経済に関する学習を積み重ねることが重要である。
- 教科書に記載されていないが重要な時事問題への対処として、日常的に新聞やニュースなどのマスメディア情報を得て、その内容や重要な用語への理解を図ることも重要である。
- 毎年、漢字の間違いが散見される。記述式の解答が中心となっているため、基本用語・人名等を正確に書けるようにすることが必要である。

選択科目 日本史

(出題内容・形式・配点) *出題内容、問題番号、配点は2月2日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 旧石器・縄文時代の遺跡・遺物	記述	30	80分
II 中・近世の対外関係	記述	30	
III 近世～近代の身分制とその廃止	記述	40	
合 計		100	

【出題の基本方針】

基本的には教科書を中心とした学習を積み重ねることで得点できる内容・レベルの出題とした。一部教科書には掲載されていない史料を使用している問題もあるが、教科書レベルの内容を理解していれば解答できるように工夫してある。

出題範囲は、基本的にIは原始・古代、IIは中世・近世、IIIは戦後史を含む近現代史とし、複数の時代をまたぐ総合的問題やテーマ出題もおこなった。また、史料・図版・写真・歴史地図などを使用した設問など、歴史用語・人物・年代の丸暗記ではなく、歴史の流れや知識を論理的に考えることで正答に至るように工夫した。

学習のポイント

- 政治・経済・社会・文化史などの諸分野を幅広く学習することが重要である。
- 教科書を中心に諸事件・事象の流れと関係を論理的・文脈的に把握することが重要である。それと同時に教科書や史料集に掲載されている図版・表・写真などにも注意を向けてほしい。
- 史料集と教科書を併用することは極めて効果が高い。その史料の趣意を記した重要箇所は、用語を含めて内容を正確に理解しておきたい。また歴史地図などにも親しみ、地理的・立体的な知識の習得を心がけてほしい。
- 漢字のミス、不正確な記述が目立つ。事象・人名などを含めた歴史用語は正確な漢字を書くことが必須である。
- 近年、戦後史の問題も一定程度の割合を占めるため、その系統立った正確な知識の習得が必要となる。

選択科目 世界史

(出題内容・形式・配点) *出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 敦煌の歴史	記述	20	80分
II パンダから見る中国の国際関係	記述	20	
III 建築家シナンとオスマン帝国の歴史	記述	30	
IV 第二次世界大戦の展開	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題した。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身につけているかを試すため、リード文の内容を正確に理解した上で解答する形での出題を心がけた。

学習のポイント

- ある歴史上の出来事について、それが発生した直接的な原因だけでなく、発生した歴史的背景、さらにその出来事が次の歴史展開にどのような影響を与えたのかについても良く理解しておく必要がある。歴史の流れとして理解するためには、教科書を何度も読み返したうえで、教科書より少し詳しい参考書を読むのがよい。
- 学習に際して、ある時代・地域の歴史展開を地理的にイメージできるようにしておくことも重要である。教科書などを読みながら、図版でその地理的展開を確認するとイメージを形成しやすい。
- 世界史の出題では、問題文全体の内容理解を前提として設問(空欄)を考えさせるという出題を心がけているので、空欄の前後だけでは正答にたどり着けないことも多い。文章読解力は大学入学後に最も必要となる学力の一つでもあるので、日頃から内容をしっかりと考えながら文章を読む練習をしておくことが必要である。

選択科目 地理

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月2日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 富士山の地形	記述	31	80分
II アメリカ合衆国	記述	35	
III カカオ豆の産地	記述	34	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書・地図帳・副教材・統計書に掲載された基本的事項を体系的に地図に即して理解している受験生が、実力を発揮できるように配慮したほか、単なる暗記ではなく、地図をもとに、事象を全体の中で把握したり考えたりする学力を推し量れるように工夫した。また、地形図を含む読図能力、系統的な事項の理解力、地誌的な総合的解釈力を問うものをバランスよく配置した。さらに時事的問題や社会的関心が高まっている問題に対しても、地理と関連づけた思考力が日頃から養われているかを問う設問を各所に配置した。

学習のポイント

- 教科書全体を通じて熟読することが重要である。その際、地域や地名は地図帳を用いて位置を正しく把握し、また統計データやグラフ・表などの資料が掲載されている場合には、それらを読み取ることのできる理解力を養ってほしい。
- 地図帳のみならず、地形図や「地理院地図」などのウェブ上の地図にも日常的に親しんでおくこと。地形図や「地理院地図」を用いた身近な地域の観察を通じて、現実の地理と対比することで、地図を読み解く力は格段に高まる。
- 多様なメディアを通じて報じられる日々のニュースには、系統地理や地誌と関わる事項が多分に含まれている。現代社会の状況にも関心をむけて、地理的な理解力を育む努力もしてほしい。
- 漢字は正しく表記し、カタカナで表記される地名や語句も正確に覚えておくこと。

選択科目 文系数学

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 3次関数の応用、図形と計量、数列	記述	40	80分
II 確率・対数・微分	記述	30	
III 確率・漸化式	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高校数学における数学I、数学A、数学II、数学B（ベクトルと数列）の学習指導要領の範囲内において、受験生の基礎知識の習得を確認するとともに、その基礎知識を応用する力、論理的な思考能力、そして文章を読み取り、その状況を数学を用いて表現する力をみる問題を出题した。公式をそのまま使って解くような基本問題は最小限にとどめ、解答に工夫が求められる応用問題を中心に、数学I、II、A、Bの各分野からまんべんなく出題した。

学習のポイント

- 教科書の内容を徹底的に学習し、基礎・基本を身につけることが何より重要である。併せて、発展問題にも挑戦することで、思考力や洞察力を養うことが大切である。
- 定義や公式の単純な適用では解けないような複雑な問題に対応するためには、定義や公式を単純に暗記するだけでなく、それらの意味や導出過程、構造を深く理解することが大切である。
- 文章の読解力や表現力といった国語力を高める必要がある。大問IIでは長い文章を丁寧に読み解く力が、大問IIIでは解答のプロセスを論理的に記述する力が試される。普段から新聞や書籍を読み、論理的な文章を書く訓練を日々繰り返すことが肝要である。
- 社会的な様々な問題を数学的に表現することで、問題の本質を抽象化し、洞察し、考える問題を大問IIでは出題している。社会問題への関心や、それについて考える習慣を持ち、幅広い教養を身につけることは、どの教科においても大切である。
- 文字を丁寧かつ正確に書くことを習慣づける。一般に答案とは、採点する人に、自分の思考過程やその結果を評価してもらうものである。

秋期・世界を変える人材育成入試 ～ロジカル・フラワー・チャート入試～

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

自分なりの「問い」を立て、自分なりの「方法」で、自分なりの「答え(最適解)」を見つける力(探究型の資質や能力)を評価します。入学後の学修について自分なりの目標を掲げ、より良い世界の実現に向かって他者とともに取り組むことのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え(仮説)を設定した上で、設問に解答(試験時間120分)

第1次選考
合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約20分)
(口頭試問を含む)



選考・評価のポイント

(出願書類)

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

(筆記試験)

- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など



選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次(最終)選考	合格発表日
		試験日	結果通知日	試験日*	
第1回	2023年 5月11日(木)～ 5月24日(水)	6月17日(土)	6月30日(金)	7月8日(土)	7月18日(火)

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または2023年9月20日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は?

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。ロジカル・フラワー・チャートを活用して探求的な学びの基礎を身につけていけば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmateに記載している「解答のポイント」を参考にして、まずは
 - ① 社会的に価値のある「問い」を立てること
 - ② その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすることが必要です。
 また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。
- 本ガイドのP7～8も参考にしてください。



解答のポイントの
詳細はこちら

秋期・活動実績アピール入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

趣 旨

中学卒業後から出願時までには修得した英語能力や海外留学等の国際経験をはじめ、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、さまざまな分野での活動実績・成果と、入学後の活動意欲や学修意欲を評価します。入学後の学修および正課外活動の両立を高いレベルで実現することをめざす人はもちろん、活動は継続しなくても、意欲的な取り組みにより培われた能力を活かし、入学後の生活を積極的に進めることのできるみなさんの入学を期待しています。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力 ●コンクール・大会等での活動成果
- 海外での学習成果 ●取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考
合格者



■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができる など

出願期間 試験日 試験地 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考		合格発表日
			試験日*		
第1回	2022年 11月10日(木)~11月22日(火)	12月9日(金)	12月17日(土)または12月18日(日)		2023年 1月10日(火)
第2回	2023年 3月9日(木)~3月22日(水)	4月14日(金)	4月22日(土)		5月9日(火)
第3回	5月25日(木)~6月7日(水)	6月30日(金)	7月8日(土)		7月18日(火)

*第1回の第2次(最終)選考の試験日は、本学が指定します。

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当し、かつ(3)(4)のいずれかに該当する者。また、英語基準出願者は(5)も満たすこと。

- 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- 高等学校(中等教育学校を含む)を2021年9月21日から2023年9月20日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

(3)【カテゴリーA(英語能力・留学経験アピール)】

次の①~③のいずれかに該当する者。

- 英語能力に関して、TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき通算3か月以上の教育を受けた者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア
※P.4へ

(4)【カテゴリーB(言語・学芸・社会活動・スポーツ等アピール)】

中学卒業後から出願時までの諸活動において優れた実績を持つ者*1で、高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上の者*2。また、数学について、少なくとも「数学I」ならびに「数学A」を履修し、単位を修得している、または修得見込みである者。

(アピールできる諸活動は最大3件までとし、2018年4月2日以降のものに限ります。)

*1 11ページの「活動実績評価の目安」を参照ください。

*2 高等学校に相当する課程で、日本と日本国外の両方の高等学校に在籍した者は、日本の高等学校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が5段階で3.5以上必要です。

【英語基準出願者のみ】

- 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

- TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
※P.4へ

この方式の対策は?

- 3か月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

秋期・海外就学経験者(帰国生)入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

海外での学修・生活経験や、その後の日本での学修活動などを総合的に評価する入試方式です。
言語の異なる国や地域での体験を活かして、将来活躍したいという思いを持つ人は、積極的にチャレンジしてください。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

❗ 選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考 合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。

❗ 選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終) 選考試験日	合格発表日
第1回	2022年 12月1日(木)～12月14日(水)	2023年 1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)
第2回	2023年 2月9日(木)～2月22日(水)	3月17日(金)	3月22日(水)～ 3月24日(金)	4月4日(火)
第3回	4月6日(木)～4月19日(水)	5月12日(金)	5月17日(水)～ 5月19日(金)	5月30日(火)

※第2回と第3回の第2次(最終)選考の試験日は本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)～(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を2020年9月21日から2023年9月20日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2023年9月20日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

(4) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
※P.4へ

- ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。

秋期・国際バカロレア (IB) 入試

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

趣 旨

International Baccalaureate (IB) のディプロマの取得 (または取得見込) 者を対象とし、ディプロマ取得に至る学びを評価する入試方式で、APUでのさらなる学びを通して世界で活躍する人材に成長することを期待しています。
なお、面接はオンライン利用のため、海外在住の方でも一時帰国する必要はありません。

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容 など

第1次選考
合格者

■ 第2次 (最終) 選考

個人面接 / オンライン (約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次 (最終) 選考試験日	合格発表日
第1回	2023年 3月9日 (木) ~ 3月22日 (水)	4月14日 (金)	4月22日 (土)	5月9日 (火)

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます (同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2023年9月20日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。

② **[日本語基準出願者]**

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア [P.4](#)へ

[英語基準出願者]

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア [P.4](#)へ

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目 (言語教育科目を除く) を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2023年9月20日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

この方式の対策は？

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得力をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学習経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

編入学試験・転入学試験

アジア太平洋学部
国際経営学部のみ対象

編入学試験・転入学試験

日本語
基準

英語
基準

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

4月入学

9月入学

趣 旨

さまざまな高等教育機関で獲得した知識をベースとして、さらに自らを高めようとする意欲に溢れたみなさんの入学を期待しています。なお、面接はオンラインで行います。

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約30分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 編入学後・転入学後の学修への意欲
- 専門領域に対する興味・関心
- 在籍高等教育機関等での学業成績
- 言語能力の水準

など



選考・評価のポイント

- 入学後の学修および正課外を含む
学生生活全般への意欲
- 応答の的確性

など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分		出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考結果通知日	第2次(最終) 選考試験日	合格発表日
4月入学	第1回	2022年 9月1日(木)~9月14日(水)	10月14日(金)	10月22日(土) または10月23日(日)	11月1日(火)
	第2回	2022年 12月1日(木)~12月14日(水)	2023年1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)
9月入学	第1回	2022年 12月1日(木)~12月14日(水)	2023年1月13日(金)	1月21日(土)	1月31日(火)
	第2回	2023年 4月6日(木)~4月19日(水)	5月12日(金)	5月17日(水)~5月19日(金)	5月30日(火)

※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

出願資格1(学修歴)および出願資格2(言語能力)の両方を満たす者。

出願資格1(学修歴)

【2回生編入学、3回生編入学】

次の①②のいずれかに該当する者。

- ①短期大学・高等専門学校を卒業または卒業見込み*の者。
- ②文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程を修了または修了見込み*の者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

※(4月入学)2023年3月31日までに
(9月入学)2023年9月20日までに

【2回生転入学】

大学に1年以上在学し30単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に1年以上在学し卒業に必要な単位数の1/4を修得済であること、またはその見込み*であること。

【3回生転入学】

大学に2年以上在学し60単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に2年以上在学し卒業に必要な単位数の1/2を修得済であること、またはその見込み*であること。

※(4月入学)2023年3月31日までに
(9月入学)2023年9月20日までに

出願資格2(言語能力)

【日本語基準入学】

- 2回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 55点相当以上のスコアを持つ者。
- 3回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 61点相当以上のスコアを持つ者。

【英語基準入学】

- 編入学・転入学(2回生・3回生)：出願時点でTOEFL iBT® Test 85点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test の各スコアに相当する成績
☞P.4へ

最終の成績証明書の提出がない場合は、入学資格が取り消されます。

入試結果データ

総合型選抜入試・特別入試結果 [2022年4月入学]

■世界を変える人材育成入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	57	18	14
国際経営	36	9	5
合計	93	27	19

■総合評価入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	172	80	49
国際経営	73	31	14
合計	245	111	63

■活動実績アピール入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	301	249	190
国際経営	122	108	88
合計	423	357	278

■海外就学経験者入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	50	34	14
国際経営	19	9	5
合計	69	43	19

■国際バカロレア入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	4	4	1
国際経営	1	1	0
合計	5	5	1

秋期入試結果 [2021年9月入学]

■秋期・活動実績アピール入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	13	8	5
国際経営	13	13	9
合計	26	21	14

■秋期・海外就学経験者入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	17	12	11
国際経営	11	8	8
合計	28	20	19

■秋期・世界を変える人材育成入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	3	0	0
国際経営	1	0	0
合計	4	0	0

■秋期・国際バカロレア (IB) 入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	2	2	2
国際経営	3	2	2
合計	5	4	4

編入学試験・転入学試験結果

■2022年4月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	7	6	6
国際経営	3	3	3
合計	10	9	9

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

■2021年9月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	4	4	4
国際経営	1	0	0
合計	5	4	4

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

一般選抜入試結果 [2022年4月入学]

アジア太平洋学部 (APS)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	293	285	70	320	210	65.6%
英語重視方式	81	76	25	250	181	72.4%
共通テスト併用方式	103	99	31	300	225	75.0%
共通テスト方式 (7科目型)	48	48	20	900	648	72.0%
共通テスト方式 (5科目型)	52	52	22	1,000	691	69.1%
共通テスト方式 (3教科型)	172	172	72	500	393	78.6%
後期方式	80	71	45	220	126	57.3%
共通テスト+面接方式	5	5	4	400	268	67.0%
共通テスト方式 (後期型・4科目型)	3	3	1	800	683	85.4%
共通テスト方式 (後期型・5科目型)	3	3	1	1,000	661	66.1%
共通テスト方式 (後期型・3教科型)	10	10	5	500	372	77.4%

国際経営学部 (APM)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	345	318	88	320	200	62.5%
英語重視方式	107	102	47	250	170	68.0%
共通テスト併用方式	150	136	53	300	204	68.0%
共通テスト方式 (7科目型)	65	65	23	900	625	69.4%
共通テスト方式 (5科目型)	67	67	24	1,000	680	68.0%
共通テスト方式 (3教科型)	189	189	75	500	377	75.4%
後期方式	78	68	55	220	103	46.8%
共通テスト+面接方式	6	6	3	400	277	69.3%
共通テスト方式 (後期型・4科目型)	3	3	1	800	587	73.4%
共通テスト方式 (後期型・5科目型)	4	4	3	1,000	640	64.0%
共通テスト方式 (後期型・3教科型)	14	14	4	500	402	80.4%

入学検定料／入学手続時納付金／学費

入学検定料

入学検定料は入試方式により異なります。

入試区分	入試方式	1出願あたりの入学検定料額	
総合型選抜 海外就学経験者(帰国生)入試 国際バカロレア(IB)入試 秋期入試 編入学試験・転入学試験	世界を変える人材育成入試(第1回・第2回・第3回)、総合評価入試(第1回・第2回・第3回)、活動実績アピール入試、秋期・世界を変える人材育成入試、秋期・活動実績アピール入試	第1次選考:10,000円 第2次選考:25,000円	
	世界を変える人材育成入試(第4回)、総合評価入試(第4回)、海外就学経験者(帰国生)入試、国際バカロレア(IB)入試、秋期・海外就学経験者(帰国生)入試、秋期・国際バカロレア(IB)入試、編入学試験・転入学試験	35,000円	
一般選抜	前期方式、英語重視方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式	35,000円	
	後期方式	1出願	35,000円
		2併願目以降	(上記に加えて)各10,000円
	共通テスト方式(後期型を含む)	1出願	18,000円
2併願目以降		(上記に加えて)各10,000円	

入学手続時納付金

入学手続は、オンライン入学手続サイトから入学手続情報を登録し、所定の期間内に「入学手続時納付金(第1次・第2次)」を納入するとともに、入学手続書類を提出することで完了します。入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」でお知らせします。

■入学手続時までに必要な納付金 ※1回生新入学全学部共通

入学手続時納付金 [4月入学・9月入学 共通]	
第1次入学手続時納付金	第2次入学手続時納付金
入学金	第1セメスター授業料A・ 授業料Bおよび諸会費
200,000円	690,000円

以下の入試方式で合格した方
●後期方式 ●共通テスト+面接方式 ●共通テスト方式後期型(4科目型・5科目型・3教科型) ●世界を変える人材育成入試(第4回) ●総合評価入試(第4回)
第1次入学手続時納付金・第2次入学手続時納付金 および諸会費一括納入
890,000円

学費



*入学金・授業料は改定されることがあります。

	最短修業年限までの年間授業料額(見込額)			
	1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
1回生入学	¥1,300,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
2回生入学	—	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
3回生入学	—	—	¥1,500,000	¥1,500,000

要卒単位数を超える単位の修得や5回生以上の場合

- 最短修業年限内に卒業に必要な単位(124単位)を超える単位を登録・取得した場合でも、追加して授業料を支払う必要はありません。ただし、特定のプログラムの履修に際して別途費用が必要になる場合もあります。
- 最短修業年限を超えて5回生以上になった場合の授業料は、授業料Aの半額と受講登録した単位数分の授業料(22,500円×登録単位数)が必要です。

奨学金制度

立命館アジア太平洋大学では、本学独自の奨学金や、「日本学生支援機構奨学金」をはじめとする奨学団体や地方公共団体などの奨学金を取り扱っています。

それぞれの奨学金は、趣旨・対象・金額・募集の有無・募集時期などに相違があります。奨学金の受給を希望されるみなさんは、各種制度の内容をよく理解し、自らの学生生活の設計をしっかりと立てた上で出願してください。

(1) 本学独自の奨学金制度

入学試験合格者のうち、成績および提出書類についての評価が優秀なものに支給される奨学金

国内学生優秀者育英奨学金

対象入試：2023年4月・9月入学 国内学生入学試験（1回生新入学）※編入学・転入学試験は対象外

採用人数：最大37名

金 額：授業料の全額に相当する額

※文部科学省による高等教育の修学支援新制度（授業料減免）もしくは国内学生授業料減免のいずれか、または両方の適用を受ける者については、減免後の授業料に相当する額。

支給期間：4年間 ※ただし、セメスター（学期）ごとに継続審査あり

支給方法：授業料の納付額に充当

申請方法：入学試験の出願時に受給を希望する旨を申告し、英語能力を示す資料を提出すること。

採用者選考・決定：入学試験成績および提出書類を総合的に審査のうえ対象者を決定し、合格発表と同時に採用者に通知。

※一般選抜入学試験で奨学金受給を希望する場合は、入学試験における外国語科目を対象とするため、英語能力を示す資料の提出は必要ありません。

※国内学生経済支援授業料減免との併給はできません。

※詳細は、入学試験要項をご確認ください。

経済支援を目的とした、入学後に申請できる奨学金

国内学生授業料減免制度

対 象：在学生のうち、所定の応募資格（世帯収入や学業成績など）を有するもの

金 額：授業料の半額に相当する額

※ただし、国が実施する高等教育の修学支援制度による授業料減免を受ける場合は、その減免額が上記金額に満たない部分について減免を行います。

支給期間：最大4年間（最短修業年限内）※ただし、1年に1回の継続審査あり

支給方法：学費請求時に奨学金の支給額を授業料と相殺

申請方法：入学後（4月・10月）に申請期間を設けます。詳細は入学後の案内をお待ちください。

APハウス入寮者に対する入学後の経済支援を目的とした奨学金

国内学生寮費減免制度

支援対象：2023年度国内学生入学試験（1回生新入学）を受験し、入学を許可されたAPハウス入寮者

申請資格：日本学生支援機構の給付型奨学金制度の予約採用申請を行い、「令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受けていること

採用人数：60名 ※給付型奨学金受給者がすべて採用されるわけではありません。

支援内容：APハウスの月額寮費の11ヵ月分の半額を減免

申請期間：2022年12月1日（木）～2023年1月31日（火）（消印有効）※4月・9月入学共通

申請方法：受験生サイトAPUmateで公開されている申請要項を参照の上、申請を行うこと

その他の本学独自奨学金

(内容は予告なく変更される場合があります)

名称	種別	資格／対象	採用人数(年間)	金額
安藤百福名誉博士奨励賞	給付	学部の3回生(5セメスター生)で次のいずれかを満たす者 ①学業成績優秀者 ②自主活動で顕著な成績を修めた者	4名以内	上限50万円
安藤百福名誉博士栄誉賞	給付	卒業予定者(8セメスター生)のうち、学業および課外活動で成績優秀かつ意欲的な進路の目標を掲げている者	4名以内	上限100万円
優秀学生奨励金	給付	所定の単位を修得し、かつ各学部、各セメスター学年において当該セメスター期の学業成績が最も優秀な者	30名程度	上限10万円
自主活動奨励金	給付	自主的諸活動において顕著な成果を修めた個人または団体	予算の範囲内で定める	団体上限10万円 個人上限5万円
国内学生経済支援授業料減免	給付	主たる家計支持者の死亡、失職等で家計が急変し、学業の継続が困難となった者(入学後の急変のみ対象)	20名以内	授業料の50%減免
APU-Club・国内学生父母の会修学援助奨学金	給付	国内学生経済支援授業料減免に採用された学生の内、APU-Club・国内学生父母の会会員子女	20名以内	20万円

(2) 本学以外の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金については、合格者に送付する入学手続要項で申込の詳細を確認してください。

第一種奨学金	
種類	貸与型・無利子
金額	自宅通学者 「最高月額」：54,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円から選択できます。 自宅外通学者 「最高月額」：64,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円から選択できます。
出願資格	学力基準：高等学校最終2か年の成績(評定平均値)が3.5以上(高等学校卒業程度認定試験に合格し、上記に準じると認められる者を含む)または、前所属機関で成績優秀な者 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・「最高月額」受給対象者：年収809万円以内／「最高月額」以外受給対象者：年収852万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・「最高月額」受給対象者：年収401万円以内 「最高月額」以外受給対象者：年収444万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。
第二種奨学金	
種類	貸与型・有利子(在学期間中は無利子、貸与利率は上限3%)
金額	(月額)20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択できます。
出願資格	学力基準：本学入学により学力基準を満たします。 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・年収1,195万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・年収787万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。受給の開始は申込完了後、最速2ヵ月後。

※緊急採用・応急採用奨学金：家計が急変した学生を対象に、随時出願を受け付ける制度があります。

※日本学生支援機構奨学金の2回生以降における募集は、毎春別途実施します。

給付型奨学金の申込方法や受給条件は日本学生支援機構のホームページで確認してください。

民間奨学財団奨学金(貸与または給付)／地方公共団体奨学金(貸与または給付)

- 奨学財団、地方公共団体によって内容が異なります。
- これらの団体の募集要項はAPUに募集依頼があり次第、スチューデント・オフィスのホームページに掲載します。
- 地方公共団体奨学金については、地方公共団体(都道府県など)の教育委員会へ直接問い合わせることをお勧めします。

Q 総合型選抜、海外就学経験者(帰国生)入試、国際バカロレア(IB)入試は「専願」の入試ですか？

A 「専願」とはしていませんので、他大学との併願受験も可能です。

Q 英語外部資格試験のスコアをもっていないですが、入試では不利になりますか？

A 英語外部資格試験のスコアを保有している場合、加点要素になりえます。ただし、保有していない場合でも、学業成績や志望理由書・エッセイ等の出願書類、面接の評価によって合格する方も多くいます。なお、英語外部資格試験が出願資格となっている入試方式、基準言語については、スコアを保有しているとともに出願基準をクリアしている必要があります。

Q 複数の入試方式を併願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、基本的に総合型選抜、海外就学経験者(帰国生)入試、国際バカロレア(IB)入試、一般選抜の間でも併願が可能です。総合型選抜、海外就学経験者(帰国生)入試、国際バカロレア(IB)入試については、試験日が他の入試方式と同日でも併願可能です(同一日に二つの試験を受験することになります)。

Q 入試日程で有利になったり、不利になったりすることはありますか？

A 複数の試験日を設定している理由は、多くの受験生に受験機会を提供するためです。そのため、入試日程によって、有利、不利が生じることはありません。ただ、早い時期に受験をした場合、仮に不合格になっても再度チャレンジできるというメリットはあるかもしれません。



Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学
アドミッションズ・オフィス

〒874-8577 大分県別府市十字原1丁目1番
TEL:0977-78-1120(平日9:00~17:30)
FAX:0977-78-1199
Email: apumate@apu.ac.jp



受験生サイト APUmate
<https://www.apumate.net>

2022年 09 月発行